



川原会長

母校への教育改革支援を通じて充実した同窓会活動を進めよう!!

校友会 山桜会 会長 川原 俊明

〈はじめに〉

今春の桜は、恵まれた天候のおかげで、例年より長く咲き続けました。山桜会会員の皆様も、大いに桜を満喫されたことと存じます。

山桜会が、昭和63年(1988年)の学院創立100周年記念事業として植樹した十数本の桜も、今や大阪城のお堀の傍でしっかりと根を下ろし、見事に花を開かせています。

春は、追手門学院の小中高の入学式と卒業式。生徒たちの仲間入りと門出のお祝いに、今年は、山桜会から、「入学おめでとう」「卒業おめでとう」の横断幕を各学校に寄贈させていただきました。生徒やご父兄から大きな反響を呼ぶとともに、山桜会の存在価値を一段と高めることができました。

これらは、数多くの山桜会会員からお預かりした年会費を、母校の教育支援の一環として活用させていただいたものです。ご協力ありがとうございました。

今年も、会員の皆様からの年会費納入をぜひともよろしくお願いいたします。

この紙面が配付されるときは、ツツジが満開なのでしょうね。

そして山桜会もさらに活発な活動を進めている頃です。

〈新執行部誕生〉

山桜会では、この4月から役員改選により新たな執行部が発足しました。

新評議員会、新理事会の決議により、正副会長は再任。

私川原俊明が、会長職を引き続き担当させていただくとともに、秋山陽彦、川口正弘、生川紳一郎の3副会長も続投となりました。

とはいえ、実行部隊である各委員会の委員長・副委員長クラスが大幅に入れ替わりましたので、今期の活動は、前期をさらに上回ることが予測されます。

私たちは、過去3年間の実績と問題点を踏まえ、今期は、母校に対する教育改革支援路線をより完成されたものに近づけるべく、取り組みを強化することにしました。

新評議員には、大先輩の京極與壽郎先輩(偕行社尋常小学校44期)から、ロースクールを目指す現役大学生・間綾子(茨木高校49期)さんに至るまで、実に幅広い方々に御就任いただきました。評議員の皆さんの活躍を大いに期待しています。今期も、全員参加型の山桜会活動を進めていくつもりです。

〈山桜会活動の原点〉

母校愛に根ざした教育改革支援活動の中で、卒業生同士の連帯意識を生み出し、その活動を通じた人とのふれあいを人生の楽しみとして享受する…。

これが、山桜会の活動の原点であるべきだと考えています。

今期は、委員会を再編し、ジュニア部会、女性部会の創設など、次世代の山桜会執行部を今から養成していこうとする遠大な計画のもとに出発しました。

先輩方や後輩の皆さんの力をお借りして、一つの企画をみんなで楽しみながら実行するボランティア精神のもとで活動の楽しみを生み出します。

会員の皆様とともに、斬新な発想、柔軟な思考を駆使し、新たな山桜会を築きあげていきたいと考えています。

山桜会の未来は、全会員の結束にかかっています。

学校法人追手門学院は、2008年に創立120周年を迎えます。

校友会山桜会も、2006年には創立90周年となります。

それぞれの記念すべき事業に向けて、山桜会は活動を強化し、存在意義を高めていきたいと思えます。

会員の皆様方のご協力ご支援をよろしくお願い申し上げます。